

認知症施策の推進
などを知事に要望

党愛知県議団

公明党愛知県議団(木藤俊郎団長)はこのほど、名古屋市の知事公館に大村秀章知事を訪ね、「平成27年度重点事業の執行及び9月補正予算編成に関する要望書」を手渡した【写真】。

席上、木藤団長は人口減少・超高齢化などの地域課題を克服するためには、住民同士がお互いに支え合う



「活気ある温かな地域づくり」が重要だと強調。その

上で、①県内全域での認知症施策の推進②愛知県版「人口レジョン・総合戦略」の策定に向けての幅広い意見聴取③地域連携による防災教育や人材育成④子どもへの貧困対策の強化——など、40項目について県の取り組みを求めた。

これに対し、大村知事は「9月補正予算で対応できるものについては速やかに実行していく」と答えた。